

# 「コロナ参入ゴルファーの実態」

## “コロナリタイアゴルファー実態調査”を実施



株式会社矢野経済研究所  
コンシューマー・マーケティングユニット  
フェロー

三石 茂樹



日本国内で新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕在化してから、早いもので既に1年半が経過しようとしている。国内でウィルス感染拡大についてニュースで盛んに取り上げられるようになったのは2020年の1月頃であったと記憶しているが、この一年半を振り返ってみると現在のゴルフ産業は当時では予測もつかなかったような環境になっていると言えるのではないだろうか。

最も顕著なのは、若年齢層を中心とした「新規ゴルファーの増加」であろう。「若いお客様が増えている」。取材先であるゴルフショップやゴルフ練習場を中心にこうした声が上がりはじめたのは2020年のゴールデンウィーク以降であった。私も初めは「そうした傾向は大都市部を中心とした限定的なものだろう」と高を括っていた面があった。そもそもそうした「若年齢層を中心とした新規ゴルファー増加」という現象を懐疑的な目で見ていたというのが正直なところだったのだが、全国各地に取材を実施していくにつれてそれが決して「大都市部を中心とした限定的なもの」ではないことが明らか

となっていた。しかしながら当時は「果たしてそれ（新規ゴルファー）がどの程度の数存在するのかわ」という定量的なデータも、また「若年齢層が何をきっかけにゴルフを始めたのか」について分析したデータは存在していなかった。そこで当社は2020年7月に「コロナリタイアゴルファー実態調査」を実施、「コロナをきっかけに、新たに約17万人がゴルフを始めた（または再開した）」という調査結果を得たのである。しかしながらその一方で、感染リスクを回避するためにシニアゴルファーを中心とした約260万人の既存ゴルファーがゴルフを止めている（一時的に控えている）という結果も得た（このデータは、当社2020年8月発行「2020年版ゴルフ産業白書」に詳細を掲載している）。

今年に入ってもコロナ収束の気配が一向に見えないこともあって、引き続き国内のゴルフ産業はある種の「追い風」を受け続けていると言つて差し支えない環境にある。そうした環境も手伝って多くの業界関係者から「その後の新規

参加者やリタイアゴルファーの動向はどうか？という問いを多くいただくようになった。つまり昨年7月に実施した調査の「最新版」を求め、当社にて2021年3月に「コロナリタイアゴルファー実態調査2021」を実施した。今回はその調査結果の一部をご紹介します。



■約60万人の新規ゴルファー創出

今回の調査概要は以下の通りであるが、前回調査との違いは「コロナ参加ゴルファー」と「コロナ休眠復活ゴルファー」を分類して抽出した点である。

〈調査実施の目的〉

- コロナ期（本調査では2020年1月～2021年2月と定義）における「既存ゴルファーのゴルフリタイアの状態とその要因、今後の復帰意向」等について分析を行う
- コロナ期に新たにゴルフを始めた「新規参加ゴルファー」の参入要因と現時点での満足度、今後の継続意向や継続に向けての課題を抽出する
- コロナ期にゴルフを再開した「休眠復活ゴルファー」の参入要因と現時点での満足度、今後の継続意向や継続に向けての課題を抽出する

〈調査手法〉

- インターネット消費者モニター

調査

〈調査期間〉

- 調査準備期間（調査設計、事前出現率調査実施）…2020年12月～2021年2月
- 調査実施期間…2021年3月5日～3月10日

〈調査母数〉

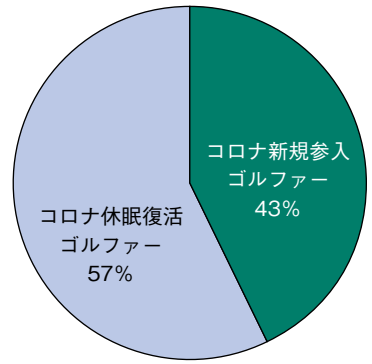
- コロナリタイアゴルファー…500名
- ☞ コロナリタイアゴルファー定義…コロナ期前（2020年1月以前）まで定期的にゴルフをしていたものの、コロナ期にゴルフをしていないゴルファー
- コロナ新規参加ゴルファー…200名
- ☞ コロナ新規参加ゴルファー定義…コロナ期前（2020年1月以前）まではゴルフをしていなかったが、コロナ期にゴルフを始めたゴルファー
- コロナ休眠復活ゴルファー…300名
- ☞ コロナ休眠復活ゴルファー定義…コロナ期前（2020年1月以前）まではゴルフをしていなかったが、コロナ期にゴルフを再開したゴルファー

コロナ新規参加ゴルファー、コロナ休眠復活ゴルファーの内訳 (単位：人)

	2020年7月調査 時点の推計値	今回調査による 推計値	合計
コロナ新規参加ゴルファー	58,700	193,900	252,600
コロナ休眠復活ゴルファー	107,100	234,300	341,400
合計	165,800	428,200	594,000

始めたゴルファー。但しコロナ期にゴルフを始めたのが「全くの初めて」ではなく、以前ゴルフをしていた経験のあるゴルファー（1年以上ゴルフをしていなかったが、コロナ期にゴルフを再開したゴルファー）

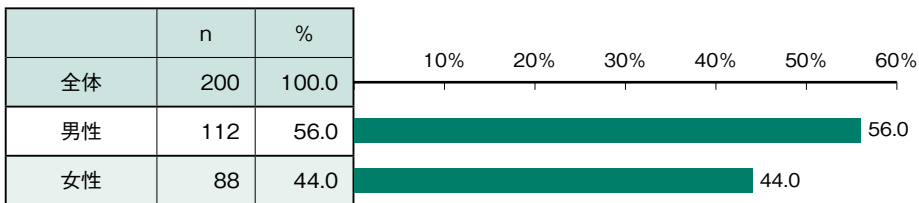
上記それぞれの層を出現率調査



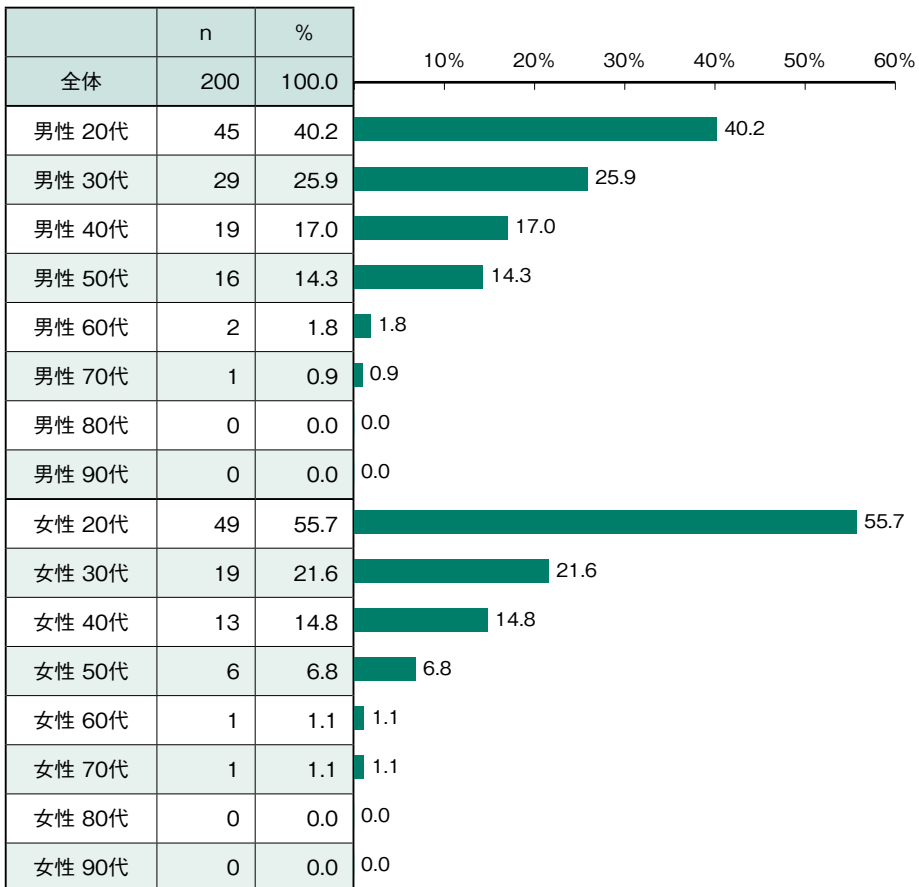
に基づいて拡大推計した結果、コロナ期における「コロナ参入golfer」及び「コロナ休眠復活golfer」は59万4000人と推計される結果となった。2020年7月時点の人数が約17万人であったから、そこから更に約43万人がゴルフを始めている、という計算となる。これまで国内ゴルフ産業が「あの手この手」で新規golferを創出を目的とした戦略立案、戦術実行を行ってきたものの「華々しい効果」と評価できるような結果を生み出すことができなかったことを考えると、コロナにより「加速度的に」新規golferが増加している、と表現しても決して大袈裟ではないだろう。

※2020年7月時点で「新たに

コロナ新規参入golfer 性別構成比



コロナ新規参入golfer 性別年代別構成



ゴルフを始めたものの既にやめてしまった層（早期リタイア層）は「2020年7月調査時点の推計値」から除外している。そのため「2020年版ゴルフ産業白書」に

「コロナ新規参入golfer」の中心層は20歳代

て推計算出した数値とは異なっている。

下記の表及びグラフは「コロナ新規参入golfer」の性別、年代別回答者構成比である。今回の調査は無作為抽出にて実施したが、過去に当社が実施したゴルフ関連

どの調査と比較しても突出して女性の構成比が高く、また性別年代別を見ると男女共に20歳代の構成比が高く、女性の20歳代構成比は55・7%と男性と比べても非常に高くなっているのが特徴的である。

**■好循環を生み出すカギは「新規ゴルフファアの継続率向上」**

今回の調査ではコロナ参入ゴルフア及びコロナ休眠復活ゴルフアの80%以上が「今後もゴルフを続けたい」という意向を持っているという結果となった(ちなみに「もう既にやめてしまった」という早期リタイア率は4%弱であった)。コロナ期にゴルフを始めた(あるいは復帰した)ゴルフファアが新たな未経験者を練習場などに「誘う」ことによって、更に新規ゴルフファアが創出されるという好循環が生まれる可能性もある。また上述したゴルフア達がSNSなどに楽しくゴルフをしている画像や動画を投稿し、それらの投稿を見た未経験者がゴルフに興味を持って能動的にゴルフを始め、というような「拡散効果」も期待

できる(上述した約60万人の新規ゴルフファアは、そのようにして「加率的に」増加した面もあるのではないかと推察される)。

しかしながら、ゴルフ練習場やゴルフ場の現場取材では新規ゴルフファアが増加しているが故の問題も顕在化しているという声が多く聞かれるようになってきている。具体的に「マナー・エチケット」「ルール」に関する問題であり、特に若年齢層の新規ゴルフファアに対して既存ゴルフファアが快く思わない感情を抱いている、といった話を数多く耳にするようにもなっている。こうした問題は言わば「ニューノーマル時代の新たなゴルフ産業」としての課題」と言えるが、新規ゴルフファアに対してどのように「マナー・エチケット」「ルール」を知ってもらい「グッドゴルフファア」として育成するかが今後のゴルフ産業発展にとって非常に重要であると言える。当社では2014年に「早期リタイアゴルフア実態調査」という資料を発刊したが、その調査では「新しくゴルフを始めた人の一年後の残存率は僅か3%」であるという結果であった。つまり、ある時期に10

0人が同時にゴルフを始めたとして、一年後にゴルフを継続しているのは僅か3人ということ、逆に言えば97人が何らかの理由でゴルフをやめてしまっているということである。このような歴史を繰り返さないためにも、図らずも新型コロナウイルス感染拡大の影響で増加した新規ゴルフファアへの啓発活動を早急に構築することが必要であると考えられる。見方を替えれば今がゴルフ産業の再活性化を実現するための千載一遇の「チャンス」であるとも言える。

なお今回調査した「コロナリタイアゴルフア実態調査2021」は、より多くの業界関係者、更に具体的に言えば日々ゴルフファアと対峙しているゴルフ場、ゴルフ練習場の「現場の方々」に手に取っていただいた上で「マクロの現状把握」

**「コロナ参入・リタイアゴルフア実態調査2021」について**

- ◆ 発刊日：2021年4月30日
- ◆ 資料体裁：A4サイズ 57ページ
- ◆ 本資料はPDFファイルのみの発刊となります
- ◆ 価格：1万1000円(税込)
- ◆ 資料詳細、お申込は下記URLを参照ください  
[https://www.yano.co.jp/market\\_reports/R62201001](https://www.yano.co.jp/market_reports/R62201001)
- ◆ お問い合わせ：株式会社矢野経済研究所スポーツグループ 三石  
 smitsuishi@yano.co.jp

※本資料は、ゴルフサミット会議加盟の一部ゴルフ団体様経由で加盟企業様に無償にて配布される場合があります。加盟団体の無償配布の有無については、各団体の事務局にお問い合わせください。

を行っていただき、それぞれの現場における新規ゴルフファア継続率向上を実現するための「戦略立案」そして「戦術実行」に繋げて頂きたいと考えている。そうした考えから本資料を1万1000円(税込)にて販売することとしました。